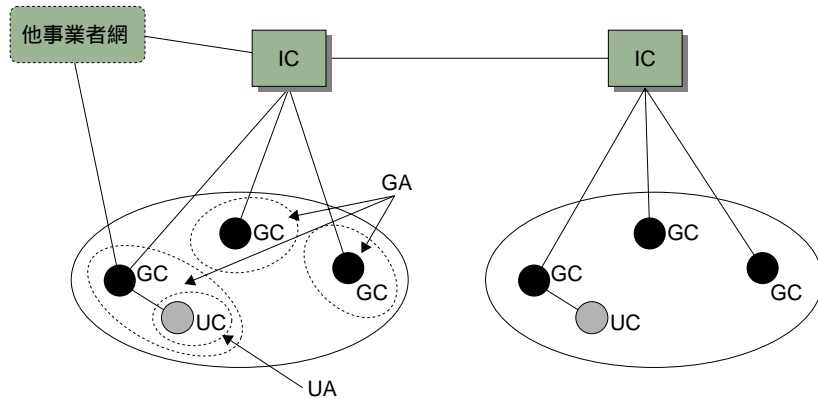


## デジタル電話網（NTT地域網）



デジタル網は、加入者を直接収容する加入者線交換機と中継交換処理を行う中継交換機からなる網構成を基本としています。

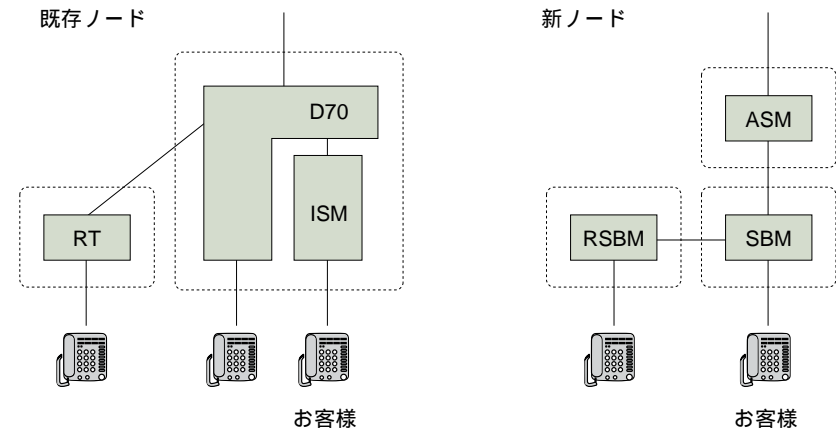
### 加入者系の構成

- 群局：GC 単位区域（UA）により構成される群区域（GA）にあつて、加入者線交換機を設置し、中継局との間に基幹回線をもっています。
- 単位局：UC 単位区域（UA）において、加入者線を直接収容する加入者線交換機または遠隔制御交換装置を設置し、加入者線交換機は群局（GC）との間に基幹回線を持っています。

### 中継系の構成

- 県内中継局：IC 県内トラヒックの収束・中継を行う地域網の中継交換機が設置されています。

## 加入者線交換機



加入者を直接収容する加入者線交換機には、既存ノードのD70/ISM/RTと新ノードと呼ばれるASM/SBM/RSBMの装置が使用されています。

### 各装置の概要

- D70 1984年より導入が開始されているデジタル回線交換用の加入者線交換機で、アナログ回線のお客者を収容しています。
- ISM D70交換機に付加し、ISDNサービスを提供する装置で、回線交換機能・回線交換関連の付加サービス機能・パケット交換呼の接続機能などをもっています。
- RT お客様をD70設置局へ遠隔収容するための装置で、アナログ/ISDN回線のお客者を収容しています。
- ASM 1996年より導入が開始されている回線交換系の接続処理とパケット情報の転送処理などを行う装置で、D70とISMの機能を併せ持った装置です。
- SBM ASMに接続される加入者収容装置であり、ASMビル設置用のSBM-CとASM未設置ビル用のSBM-Sがあります。
- RSBM お客様をSBM設置局へ遠隔収容するための装置で、ISDN回線のお客者を収容しています。

\*上記ASM/SBM/RSBMで構成されるシステムを新ノードシステム（MHN-S）と呼びます。